

令和6年度 横浜ひなたやま支援学校 不祥事ゼロプログラム（最終検証）

○行動計画の実施結果

課題		目標	実施結果（最終検証）
通年	法令遵守意識の向上	教育公務員としての立場を自覚し、教職員として法令遵守意識を持ち、公務外非行の防止に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 全職員を対象に管理職面談の中で、不祥事防止に対する注意喚起を実施した。また、毎月の職員会議にて資料配付の上、不祥事防止研修会を実施している。他に不祥事防止職員啓発・点検資料を全職員に配付したのち、Formsにて回答。意識の向上と情報提供を行っている。県より「綱紀の保持」の通知がきたときは、その都度、職員へ周知と徹底を図っている。 引き続き、職員の行動意識の向上を図る研修会の実施に努める。
4月	個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報を適切に管理し、情報の紛失、流出を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> 4月2日実施。「個人情報等の管理と情報セキュリティ」に関する研修を実施した。「情報セキュリティポリシー」の内容や個人情報の取扱いのルール等について、全職員で確認することができた。 研修内容の情報量が多いため、全職員が共通理解するためには、情報を精査して伝える必要がある。データ保存については、学期末のチェックリストの記入等、定期的な注意喚起を行っている。
5月 6月	適切な休暇取得と服務全体の改善 業務改善	心身の健康を保つとともに、ミスを減らし、事故を未然に防止する。 業務改善の活発な意見を収集する中で、同僚性を高める。	<ul style="list-style-type: none"> 5月の学年会にて、業務の精選・改善に向けて「自助⇒自分でできること」「共助⇒同僚と協力して取り組めること」「取り組んでみて効果があったこと」の視点で意見交換を実施した。それらをまとめて、6月に職員で共有を行った。並行して、管理職面談の時に、個々に「心掛けていること」を確認した。さらに、9月の職員会議にて業務改善について提案した。 時間外長時間勤務者の人数を毎月把握し、まとめたものを全職員一人ひとりに示した。
7月	交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規の遵守と交通事故を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> 7月11日実施。教務グループリーダーとフード専任が担当した。Formsを使って問題を出し、職員がその場で回答して、各学年より答えを発表する形式で実施した。話を聞くだけでなく、「回答する」「発表する」活動を入れることで、参加しながら研修に取り組むことができ、啓発と意識の向上につなげた。
8月	体罰、不適切な指導の防止	児童生徒の人権を尊重し、障害や行動の特性や実態に合った適切な指導を徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> 8月29日に人権研修「ペップトーク（言葉の持つ力）」を実施。「2学期からの指導につなげたい」との感想が多数あった。それを受けて8月30日に、教育推進グループリーダーより、神奈川県人権教育推進の手引きを参考に「人権的配慮って？」「不公平と感じさせない配慮」の題材で講話を実施した。また、学部リーダーより、神奈川県教育委員会「体罰防止ガイドライン」「子どもの安全を守る6つの点検」を参考資料として「体罰・不適切な指導」についての講話を実施した。8月27日の学年会にて「例文の行為は、体罰にあたるか」を考えさせるアンケートも実施した。
9月	職場のハラスメント	職員同士がお互いの人権を尊重した言動、行動をし、誰もが働きやすい職場環境をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> 9月19日実施。第3学年の先生方が担当した。セクハラ、パワハラについて、ロールプレイ形式で演じて、「男性へのセクハラ発言」「同僚を～ちゃんだけで呼ぶ」「職場での無視」など、どのような言動がハラスメントになるかを研修した。受け取る側の気持ちを考えること、相談しやすい環境づくりを日頃から行う必要があることを確認した。また、「これもセクハラ50選」の資料を共有した。

10月	児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員一人ひとりが生徒の人権を尊重した指導を行い、事故不祥事の未然防止に当事者意識をもって取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 10月17日実施。第2学年の先生方が担当した。「スクール・セクハラを考える」という神奈川県教育委員会からの資料を使って、ロールプレイ形式で演じて、どこに問題があるか、どうすれば解消できるかを考えるという研修を実施した。生徒と教員は、対等な立場ではないことを確認した。 今後も自分事として考えられるような研修の工夫が必要である。
11月	入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、進路関係や相談関係資料、個別教育計画の作成、管理を適切に行う。 個人情報に関する事故の未然防止に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 11月21日実施。進路担当、相談担当の先生方が担当した。進路・相談が考える個人情報の取り扱いについて、「受けた電話ではすぐに生徒情報は答えない」「個人情報ファイルは手渡しを基本とする」「生徒の個人情報を扱う場合は、ドア、窓、周囲の状況を確認してから行う」ことを具体的な事例をもとに、改めて確認した。その後、隣の席の教員と個人情報ファイルの取り扱いについて話し合った。日頃から、個人情報取り扱いの小さな意識を積み重ねていくことを共有した。
12月	財務事務等の適正執行	私費会計基準に即した計画的で適正な執行に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 12月19日実施。総務グループリーダーが担当した。年度初めに私費会計マニュアルに沿って、研修会を実施した。今回は、年度末に向けて会計を閉めるために、11月末現在の執行状況、最終購入期限、適切な管理と処理についての確認がなされた。立て替え払いでの購入が減り、計画的な執行が継続されていることを確認した。 今後も会計担当者だけでなく、職員全体へのアナウンス・確認が必要である。
1月	業務執行体制の確保等(情報共有、相互チェック体制、業務協力体制)	教員間の情報交換、情報共有の時間を確保するとともに、相互チェック体制、業務協力体制を整え、事故を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> 1月8日実施。連携支援グループリーダー、副校長が担当した。10グループ(年齢・経験の違うメンバー)にわかつて、体育館で「チーム力向上ゲーム(①ジェスチャーゲーム②伝言ゲーム)」を実施した。感想や日頃どのように情報共有をしていいかなどをグループで協議し、感想や意見を付箋に記入して、A3 1枚の記録を作成した。その記録から印象に残ったことを1月15日の不祥事防止研修にて発表し、職員間で共有した。「要点・ポイントをまとめて伝えることの大切さ」「メモを取ることの大切さ」の意見が出た。研修に参加できなかつた教員には、A4 1枚でレポートを提出してもらった。さらに授業で取り入れて、言葉と動作で伝える学習を実施した学年もある。
2月	個人情報の管理、取り扱い、情報セキュリティ対策(パスワードの設定・誤廃棄防止)	個人情報を適切に管理し、情報の紛失、流出を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> 2月13日実施。第1学年の先生方が担当した。年度当初に実際に起きた事例をもとに、ロールプレイ形式で紹介した。提出物のダブルチェックは必ず行うことを確認した。日頃からのダブルチェック、年度末や年度初めの配付物や提出物の多いときのダブルチェックなど、意識を高めていくことを確認した。個人情報は、学校を信頼して提供してくれたものであり、家庭からお預かりしている、という意識を常にもつことを確認した。

○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

- 今年度のキーワードとして「同僚性を高める」「自分事として考える」を設定し、月ごとに担当者を決めて、課題について、それぞれが工夫した内容をプレゼンテーションし、全職員で研修する形式で実施した。クイズ形式、ゲーム形式、ロールプレイング、グループ協議などの研修方法の工夫が見られ、一定の成果が得られたと考える。
- 事故・不祥事防止の取り組みを教職員が自分事として捉え、チームで対応する意識の向上や同僚性の醸成を目指し、外部講師の活用やグループ協議の実施、研修方法の工夫など、職員一人ひとりが主体的に参加する不祥事防止研修会の実施や事故防止会議の設定に引き続き努めていく。